KASHIWA 広報かしわ
11.15
平成23年（2011年）
No.1397

主な内容

P2……市の人事と給与を公表／市の放射線等への取り組み
P3……保育園の入園児童を募集／柏市一般廃棄物処理基本計画にご意見を／仮設庁舎の建設を開始／市の放射線等への取り組み（続き）
P4……市のしごといくらかかるの？「無料法律相談の運営」
P5……地域活動の輪「エンジョイ・パトロール」

発行 柏市　〒277－8505　千葉県柏市柏5丁目10番1号　☎(04)7167－1111　FAX(04)7166－6026　編集 秘書広報課　発行日 毎月1・15日

身近な放射線量を知る

空間放射線量測定器の貸し出しを開始

市では、学校や保育園をはじめとする市の施設を中心に、継続的に空間放射線量を測定しています。今後は、「家の前の側溝はどれくらいの線量なの？」「自宅の庭の放射線量を知りたい」といった要望にお応えするため、空間放射線量測定器の貸し出しを行います。

問 放射線量測定コールセンター☎7168－1037
放射線対策室☎7168－1036

予約受け付け／11月16日㈬午前9時から
貸し出し開始／11月17日㈭午前9時30分から
対 市内に住所や固定資産を有する個人・団体
期間／原則1日（午前9時30分～午後4時30分）※町会等で利用する場合は3日以内。閉庁（館）日に使用する場合は直前の開庁（館）日に貸し出し、翌開庁（館）日の午前9時までに返却
貸出場所／放射線対策室（市役所本庁舎4階）・沼南支所総務課（沼南庁舎1階）・各近隣センター（**別表「測定器貸出施設等一覧」**参照）
貸出機器／クリアパルス株式会社製Ｍｒ.Ｇａｍｍａ（ミスターガンマ）Ａ2700型（検出方式：シンチレーション式）
貸出数／各5台

■測定器貸出施設等一覧

場所	連絡先	予約・貸出日
放射線対策室	7168－1037（放射線量測定コールセンター）	月～金曜日
沼南支所総務課	7191－7314	
豊四季台近隣センター	7144－1000	全日
南部近隣センター	7173－1000	
田中近隣センター	7133－1000	
西原近隣センター	7154－2000	
増尾近隣センター	7174－7211	
光ケ丘近隣センター	7175－0033	
松葉近隣センター	7133－2200	
藤心近隣センター	7176－3700	
高柳近隣センター	7193－1110	
旭町近隣センター	7144－8900	第1・第3月曜日を除く、全日
永楽台近隣センター	7163－1201	
布施近隣センター	7132－3100	
新富近隣センター	7145－1945	
富里近隣センター	7173－9531	
高田近隣センター	7144－9292	
新田原近隣センター	7167－1276	
酒井根近隣センター	7175－2400	
中央近隣センター（アミュゼ柏）	7164－4552	原則第3月・火曜日を除く、全日

※いずれも、予約は午前９時～午後５時。年末年始は受け付けを行いません

注意事項／▶測定者以外のかたが管理する土地や施設内で測定をする場合は、必ず事前に承諾を得てください▶返却時間・返却日を守ってください▶測定器は市内で使用してください▶過失による故障や紛失は、申請者の責任において弁償していただきます

手続きの流れ

事前手続き　午前9時～午後5時
貸し出しを希望する近隣センター等（以下貸出施設等）に、電話するか直接行って予約をする

貸出日当日　午前9時30分～午後4時30分
貸出施設等で配布する申請書兼借用書に必要事項を書いて、運転免許証など本人確認ができるものを添えて、予約した貸出施設等へ直接持参を
※申請書兼借用書は市のホームページからもダウンロード可

測定器等を受け取る
測定器と取扱説明書を受け取り、留意事項・操作方法について説明を受ける

測定をする
※本放射線量測定器による測定値は参考値です。測定場所における放射線量の安全性や危険性の判定、証明等には使用できません

測定器を返却する
午後4時30分までに貸出施設等に測定器を返却し、返却確認を受ける※閉庁（館）日に使用した場合は、翌開庁（館）日の午前9時までに必ず返却を

周辺に比べて高い放射線量が測定されたら

個人等での測定の結果、地表から１メートルの高さで、周辺の放射線量と比べて１マイクロシーベルト／時以上高い数値が測定された場合、近隣センター等に設置する放射線量測定結果表に必要事項を書いて、測定器の貸し出しを受けた貸出施設等へ提出してください。市で調査を行った後、文部科学省に通報し除染の支援を要請します。

放射線量測定コールセンターを開設

市民の皆さんからの放射線量測定等の要望を受け付ける、放射線量測定コールセンターを開設しました。公共施設や市・私有地の空間放射線量の測定を希望されるかたは、コールセンターまでご連絡ください。

時 月～金曜日の午前9時～午後5時
他 私有地の測定は、原則として土地所有者の許可のもとで行います
問 放射線量測定コールセンター☎7168－1037

除染計画についての意見交換会（柏市の除染を進める会）

市民の年間追加被ばく線量が1ミリシーベルト以下になることを目標として、除染計画の策定を進めています。策定に当たって、市民の皆さんとの意見交換会を行います。

時 11月21日㈪午後6時～8時・23日㈬午後4時～6時
所 柏第一小学校体育館
対 市内在住・在勤・在学のかた、先着300人
持 室内履き
申 当日、会場へ直接
他 駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください
問 放射線対策室☎7168－1036

安心できる暮らしを取り戻すため

柏市長　秋山浩保

福島第一原子力発電所の事故に起因する放射能汚染については、市民の皆さんに大変ご心配をおかけしています。特に根戸の市有地で局所的な高線量地点が確認されたことは、報道でも大きく取り上げられ、さらにご心配をおかけすることとなってしまいました。市では、この事態を受け、あらためて対策を見直し、体制を強化しました。

根戸の現場は、首都圏で計測された線量としては高数値であり、現在国の支援を受け、メカニズムなどを調査中です。三メートル程離れたところの線量は周りと変わらない程度になりますので、その場を通り過ぎるくらいであれば、被ばく量自体は極めて小さいものと推定されます。しかし、局所的といえども、今までに経験したことのない放射能汚染が身近にあるということは心配です。市では、その他の市有施設や市有地も細かく測定し、さらに私有地の測定や放射線量測定器の貸し出しを開始し、局所的でも高い部分をできる限り把握しつつ、着実な除染を行っていきます。安心できる暮らしを取り戻せるよう、今後も国と連携してしっかりと対応していきます。

学校などでは9月より積算線量計を利用して生活実態に合わせた累積の追加被ばく線量を測定しています。このデータを見る限り、地域によって数値にバラつきはあるものの、年間換算では概ね一ミリシーベルト（国際基準での（平常時の）一般公衆の追加被ばく線量は年間一ミリシーベルト以下にすることとされています）を下回るものと推定されます。

除染活動や汚染土壌等の処分場所などについては国が責任をもって対応するという法律が8月下旬に制定され、来年1月1日からの施行が予定されています。市でもそれまでの間に市内全域を対象とした除染計画を作成し、計画的な除染活動を進めていけるよう準備を進めています。

国の財政支援が現時点では明確ではなく、また東京電力への求償請求にも前向きな回答をいただけていない、財政的には非常に苦しい状況ですが、今後も安心して柏で暮らすことができるように努力を一つ一つ続けていきます。